



まなぼうさい

「自分で守る、みんなで守る、災害に強いまちづくり」に寄与することを目的に、8月30日(日)、「まなぼうさい」が開催されました。午前9時の地震発生を想定した爆竹の合図で避難場所である「雁回館」に集まった人は430人。

10時の開会式で、幸山市長は「今年に入って自然災害が各地で頻発している。市民一人一人がどのように行動するかが大事であり、地域の中での訓練が大切である。」村崎区長は「本日の体験や学習で災害時にどのように対応するかを認識していただきたい。」と挨拶。その後各種の体験、展示パネルや説明で学習。はしご車体験には行列が出来ました。

はしご車体験…ビル火災では30m 本日は20m



地上20mの眺めは！



笑顔とVサインで到着



緊張！

起震車体験



震度6？



子供を護る母の姿!!

屋内体験



救急法



災害と防災について



ていねいな説明

救急法体験者からは「みんなの生活の必須科目に」「誰でも、何時でも出来るようになったらいいですね」と力強い言葉を聞くことが出来ました。

昼食は非常食を試食。「美味しかったです。ごちそうさまでした」